

# 週間感染症情報

2024年18-19週 2024年4月29日より2024年5月12日まで

18週 19週

麻疹		
風疹		
水痘(みずぼうそう)		2
ムンプス(おたふくかぜ)		
百日咳		
溶連菌感染症	12	15
手足口病		4
ヘルパンギーナ		3
伝染性紅斑	1	
感染性胃腸炎	33	57
ロタウイルス(再掲)		
便アデノウイルス(再掲)		
突発性発疹	1	2
伝染性膿痂疹(とびひ)	4	5
ヘルペス性口内炎	1	
アデノウイルス感染症	2	4
RSウイルス感染症	6	7
マイコプラズマ感染症		
ヒトメタニューモウイルス		
インフルエンザ	2	1
インフルエンザ A	0	1
インフルエンザ B	2	0
新型コロナウイルス感染症	34	21

2024年18-19週の2週間の報告です。右下のグラフの様に新型コロナウイルス感染症の報告は減少していますが、ゼロにはなっていません。例年と同様だと、左下のグラフの様に夏から秋にかけて再度大きな流行がある予想です。秋の予防接種が間に合うでしょうか心配です。インフルエンザは右下のグラフの様に2023年から続いていた長い流行が終息しました。

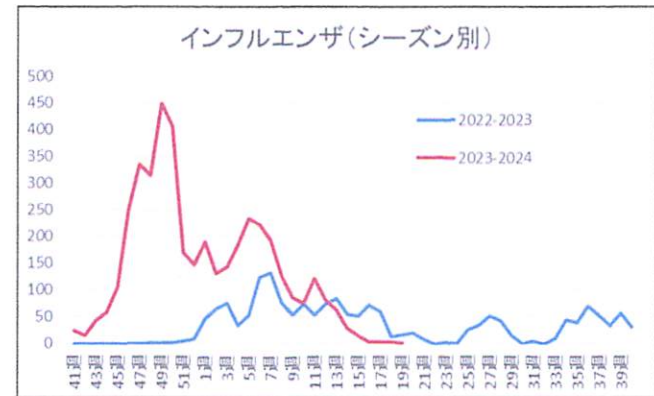
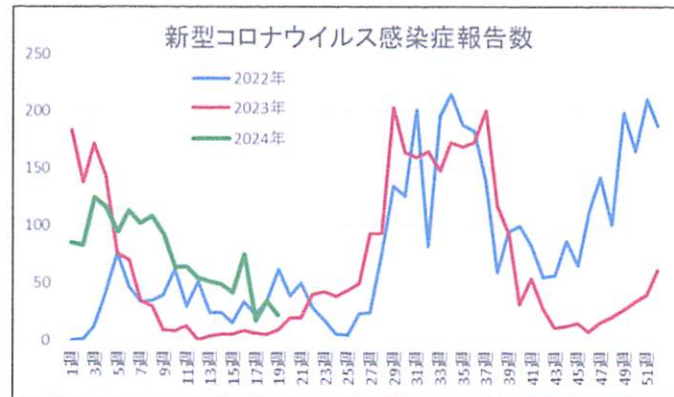
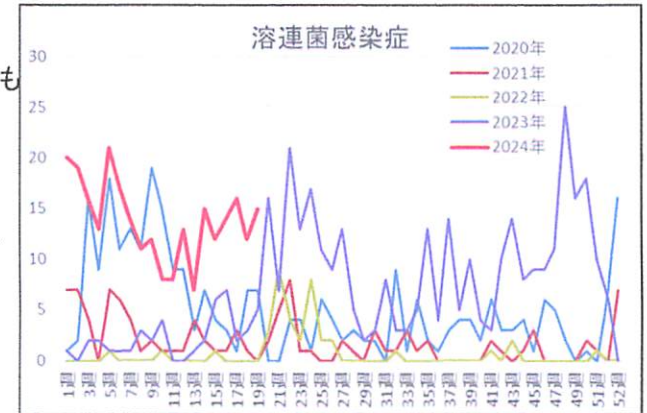
2023年はA型が2種類、2024年になりB型(ビクトリア系統)の大きな流行があり、6000例近くの報告がありました。局地的な小流行はあるかもしれませんが、冬になるまでは次の大きな流行はないと予想しています。

溶連菌感染症の報告が増えています。小児だけでなく、成人例もみかけます。欧米より感染力が強く毒性の強い株が入ってきていることも一因のようです。話題の劇症型溶連菌感染症の原因菌と同じ菌です。心配しすぎることはありませんが、休んで治療することが大切です。

体調不良の場合は休み、ぜひマスクの着用をお願いします。

手洗い・換気に努めて下さい。

医療機関・密な環境・公共交通機関では  
マスクの着用をお願いします。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com> )